

第5回中国メディア研究会
～情報を規定する政治力学～

- 主旨

近年、現代中国に関する研究は、渡航状況の変化や情報統制の強化を背景に、現地調査が困難になった。その一方で、情報技術の進歩に伴い、大規模かつ多様な資料をオンライン上で入手できるようになった。このような資料環境の変化を受け、中国研究では新たな試みがなされてきた。第5回研究会では、メディアに関するデータ分析を通じ、現代中国における情報・コミュニケーションを規定する政治力学を議論する。

開催日時：2024年7月13日(土)13:30~18:10

場所：慶應義塾大学 三田キャンパス 西校舎 532 教室(東京都港区三田 2-15-45)

<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>

形式：対面のみ、登録不要

使用言語：日本語

- スケジュール

13:30 開会挨拶

13:40-14:15 山田浩成(ジェトロ・アジア経済研究所)「『緑化』する中国の裁判官：量的テキスト分析手法を用いた判決書における生態文明思想の測定」

14:20-14:55 円光門(東京大学・院)「中国外交における言行(不)一致の研究：南シナ海の紛争を例に」

15:00-15:45 御器谷裕樹(慶應義塾大学・院)「討論」・全体討論

15:45-16:10 休憩

16:10-16:40 工藤文(金沢大学)「党報 Weibo の宣伝内容を決定づける条件 — 量的テキスト分析と質的比較分析(QCA)から — 」

16:45-17:15 于海春(北海道大学)「中国の政治コミュニケーションにおけるソーシャルメディア利用：党報 Weibo の比較分析から」

17:20-18:10 周源(神戸大学)「討論」・全体討論